

仮面の米国 (1932)

I AM A FUGITIVE FROM A CHAIN GANG

メディア 映画

ジャンル ドラマ 犯罪

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 92分

初公開日 1933/06

公開情報 劇場公開

【解説】

息の長い監督暦を誇るM・ルロイは戦後、ペース溢れるメロドラマ的作品を専ら連打したが、トーキー初期においてはワーナーで、こうした犯罪物の佳作を多く放っている。実話に基づいて作られた本作（原作者のR・E・バーンズは二度目の脱獄後この手記を出版、そのまま姿を消した）はジョージアでその頃まで行なわれていたチェーン・ギャング（鉄牢）を告発する内容で、同州は本作の評判に屈し、その人道を無視した刑罰を取りやめた。主人公の名は映画ではジェームズ・アレンと改められ、演ずるは名優P・ムニ。彼は第一次大戦に出征。除隊後、事業の夢を持って帰郷するが、世間は帰還兵に冷たい。たまらず飛び出し、その日暮らしの生活を送るが運尽きて失業者の仲間入り。アトランタのカフェで小競り合いからホールド・アップと間違えられ、10年の刑を受け監獄に繋がれてしまう。そこで課せられる重労働は一日15時間半にも及ぶ激務で、その理不尽に憤った彼は鎖を断ち切り決死の脱獄に成功する。それからシカゴに逃げ、出版社に職を得、精進して編集長とまでなるが、情をかけられた下宿先の女将に、彼に他の恋人ができたことから密告される。彼は進んで裁きを受け、支援の動きも高まったが、州高裁は一度約束した釈放を許さず、不当に彼を拘束し続けた。そのため彼は再び脱獄に挑むのだが……。野外労働中に逃げ出し、死に物狂いで藪を駆け、葦を啜って沼に身を潜める場面など、息詰まる迫力がある。「エリオット・バーンズの帰還」は本作のリメイクにあたる。

【クレジット】

監督	マーヴィン・ルロイ	Mervyn LeRoy
原作	R・E・バーンズ	
脚本	シェリダン・ギブニー	Sheridan Gibney
	ブラウン・ホームズ	Brown Holmes
撮影	ソル・ポリト	Sol Polito
出演	ポール・ムニ	Paul Muni
	グレンダ・ファレル	Glenda Farrell
	ヘレン・ヴィンソン	Helen Vinson
	プレストン・フォスター	Preston Foster
	シーラ・テリー	Sheila Terry
	アレン・ジェンキンス	Allen Jenkins
	デヴィッド・ランドー	David Landau
	バートン・チャーチル	Berton Churchill